

令和4年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	区長 長崎 忍
組織の目的・方向性	秋葉区では、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		

秋葉区組織目標

秋葉区では、産学官・地域等と連携してまちの活性化と人材(人財)育成を進めるとともに、区民の地域への愛着や誇りを育み、地域資源を生かして交流人口や定住人口の拡大を図ります。

この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 産学官及び地域等と連携し、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材(人財)育成等に向けた主体的な取り組みを進めるとともに、アキハスムプロジェクトの理念に基づき、秋葉区の特性或魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進の支援や、市民活動に取り組む新たな人材(人財)を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。
- 2 住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。安心安全なまちづくりのため、傾斜地が多い区の地域特性を踏まえ、土砂災害への対応力を強化することに取り組めます。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及し、地域住民や関係機関と連携・協力することで、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。
- 4 里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。また鉄道、花と緑、史跡など恵まれた地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-5451

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	安全な秋葉区、地域アイデンティティあふれる秋葉区、“持続可能なまち”秋葉区を目指して、所掌事務を発展・展開し、取り組んでいきます。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				R4結果
1		産学官及び地域等と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等に向けた主体的な取り組みを進めます。	・まちなか活性化実行委員会の開催 ・産学官連携による人材(学生)育成	新規事業又は事業改善数	-	-	-	1	1	・関係機関等との調整、事業の進行管理		
				学生の地域づくり体験活動実施数(件)	1	0	1	1	1	・コミュニティフィールドワーク		
2	1	「アキハスプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・秋葉区オンライン移住相談会 ・SNS動画コンテスト ・移住モデル地区等への支援	オンライン移住相談会の開催回数	-	-	1	2	・特設WEBサイトや各SNSによる情報発信 ・動画コンテスト入賞作品を活用したPR ・地域主体による魅力発信や移住者受入体制整備を支援 ・HAPPYターンモデル指定 金津里山地区(R1年11月)			
			・新たな人材の発掘育成 ・教育懇談会の開催	取組み実施数(件)	2	2	1	2	・まちづくりに係る企画への支援等			
3		住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11	・地域からの課題をもとに意見交換			
4	2	「安心安全なまちづくり」を推進するため、土砂災害対策に取り組めます。	・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練を実施することにより、災害時の情報伝達システムなどの強化を図ります。	区災害対策本部事務局の災害対応訓練の実施回数	-	-	-	1	・区内の土砂災害警戒区域：155か所(うち95か所が土砂災害特別警戒区域) ※市全体の土砂災害警戒区域：310か所(うち219か所が土砂災害特別警戒区域)			
5		エネルギーの効率的な利用の推進による安心・安全なまちづくりを進めるため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の実現と効率的なエネルギー利用を推進します。	官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討します。	関係部署間の連携を図る検討会や秋葉区みらい会議への出席	-	-	6	6	R3年度は「秋葉区みらい会議」は4回の会議が開催された。市・区からはオブザーバーとして参加、自立分散型エネルギーシステムの構築やエネルギーの地産地消などの検討を行った。			

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>産学官及び地域等との連携を深めながら、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等をより主体的に行います。</p> <p>「アキハスプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。</p> <p>地域コミュニティ協議会と連携・協力し、区や地域の課題等について意見交換し、具体的方策・対応を共有・検討します。また、子どもたちを健やかに育てていくための環境づくりを話し合う教育懇談会を開催します。</p> <p>安心安全なまちづくりを推進するため、土砂災害に係る避難情報の発令を想定した災害対応訓練を実施することにより、災害時の情報伝達などの強化を図ります。</p> <p>官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と、地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について、秋葉区未来会議などに参加し検討します。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-5751

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	区民生活課
組織の目的	区役所で最も多くの市民が利用する窓口として、複雑多様化する市民ニーズに応え市民満足度の向上を図るため、職員一人ひとりの資質を高めることにより親切丁寧な窓口サービスを実現します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		親切丁寧で分かりやすい窓口対応、総合的な案内を実践するため、職員のスキルアップを目指します。	・各係の業務についての課内研修の実施 (前・後期各3テーマ) ・事前テスト・確認テストの実施	研修後の確認テストの平均点(点)	9.5	9.45	8.9	8.5		・担当職員が順に講師を務めることで、更なる知識習得や説明能力向上をも期待するもの		
2		区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。	・窓口アンケートの実施 ・職場内研修の実施	窓口アンケートの平均点(点)	4.53	4.58	4.58	4.50		・窓口アンケートは5点満点		
3		日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し改善を実施します。	・改善項目の抽出 ・改善の実施	改善件数(件)	24	24	37	16		・職場研修や窓口アンケートを踏まえ各係4件以上の改善		
4		ゴミの無ききれいな生活環境の保持に努めます。	・ゴミの不法投棄防止に向け、定期的なパトロールの実施 ・不法投棄ゴミの回収 ・不法投棄防止看板の設置	パトロールの回数(回)	—	—	12	12		・不法投棄重点監視地点を中心に、月1回のパトロールを実施		
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>区民生活課は区役所の中で最も多くの市民が利用する窓口であり、その窓口での対応が区役所・市役所の印象となります。そのため、研修への積極的な取り組みを継続して行い、職員一人ひとりの資質の向上を図ることで、親切丁寧、迅速かつ的確な対応を実践し、市民満足度の一層の向上を目指します。</p> <p>職員から改善提案を募集し、可能な提案はすみやかに実施することで業務の効率化を図り、日常業務をさまざまな角度から見直し、改善することができる職員を育成します。</p> <p>ゴミの不法投棄防止に向け、重点監視地区のパトロールを定期的に実施し、ごみの無ききれいな生活環境の保持に努めます。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5711
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	区民一人ひとりが、健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、地域包括ケアシステムの構築や秋葉区の特性を活かした福祉や健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組み、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本方針である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	—	—	8	10		・区だより、FMにいつ、ポスター掲示 ・講演会1回 ・高齢者見守り月間に併せた啓発		
2	3	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	・障がい者への理解を広げ(つなげる)、仲間づくり(つなげる)の推進(つながる支援ファイルの作成・配付、保護者支援の講座の開催)	つながる支援ファイル利用者数(人)	87	141	193	220		・つながる支援ファイルとは、医療・保健・福祉・教育・労働など各機関の支援を1冊のファイルに記録し、経年的に管理し、保護者が所持するもの		
			・身近な子育て支援の充実(区づくり事業や育ちの森で開催するの子育て講座の実施回数など)	子育て講演等の開催回数(回)	122	126	130	240		目標の回数は、小さな森の広場・パパママ銭湯・デイケアルームの回数や育ちの森で開催する講座の回数と子育てサポーターの訪問件数 ・講座の回数 126回 ・訪問件数 114回		
			・子どもを含めたフレイル予防、生活習慣病予防の普及・啓発(ロコモ予防の取り組み団体への支援、小児生活習慣病予防健診後の講座の開催)	フレイル予防事業の参加延べ人数(人)	1,660	801	820	1,000		フレイル予防教室・講座、地域イベントでのフレイル啓発事業へ参加延べ人数		
			事業参加者の生活習慣の重要性に対する理解度	—	—	—	70%		目標値は、事業参加者へのアンケートから算出			
3		窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	・各係の業務からテーマを設けて課内研修会を実施	研修会実施回数(回)	7	8	7	7		・各係(担当)1回以上の実施		
4		継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	・各係で業務や窓口等における継続的な業務改善を実施	改善実践報告の件数(件)	21	21	21	21		・各係(担当)3件以上の取組		

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進します。認知症に関する知識の普及や啓発を図り、区民や地域の団体等とのネットワークづくりから区民協働による「認知症高齢者と支える家族にやさしい秋葉区」を目指します。 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組みます。 子育て支援では、産後のリフレッシュ事業として、パパママ銭湯やデイケアルームを実施するほか、各種子育て講座の開催、子育てサポーターによる訪問事業を行い、妊娠期からの母子を支援します。 窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指し、職員のスキルアップを目指す研修会や継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5331
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	産業振興課
組織の目的	区の特徴である「鉄道・花・里山・石油」のキーワードと関連する施設を活用し、交流人口の拡大を図ります。また、関係団体と連携して地域経済の活性化と賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、地域の特性を踏まえた農業政策を推進することで、地域農業の持続的な発展を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果		
1	4	里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(子供参加数)	1,907	プレーパークの実施	1,717	1,800		令和2年度実績 26回1,098人 令和3年度は32回実施 ※コロナ中止2回 悪天候中止1回	
		地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・わくわく石油楽習広場	・わくわく石油楽習広場参加校数		—	—	3		石油資源を活用した学校連携事業 石油の世界館友の会等が講師	
			・秋葉「鉄道物語」	JR、商店街、観光協会との鉄道の街にいつ連携事業数	4	2	3	3		JR、商店街など各組織と連携し、交流人口の拡大に努める。	
			・アキハ花一番PR事業 ・園芸推進費(既存事業)	秋葉区内花き関連団体連携事業数(新潟県花卉出荷組合・新潟県花木振興協議会・新潟県立植物園・花夢里・新津FL・うららこすど)	—	—	5	5		現在、各団体と連携して行っている花卉・花木振興事業を新しい生活様式に合わせて展示PRを中心に実施する。	
2		「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	・Akihaもち麦推進事業	もち麦販売促進事業数	—	5	11	11		フードメッセにいがた出展、小学校もち麦総合学習など販売促進、広報宣伝事業を実施する。	
				区内産もち麦の取り扱い店舗数	18	26	28	28		健康レストランやもち麦取扱店舗数	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>Akihaマウンテンプレーパークは新型コロナウイルス感染症対策を行う中で実施していきます。昨年度は、コロナ禍にあっても屋外での活動に一定の需要があったことから、今年度もアウトドアの魅力や自然の中での活動需要を喚起していきます。</p> <p>わくわく石油楽習広場は地域資源である石油の歴史や地学的にも貴重な地層などを活用して、石油の世界館友の会と連携し、地域における人材の育成、石油の歴史への理解を図るとともに学校教育へ来場するためのバス等の支援を実施します。</p> <p>秋葉「鉄道物語」は鉄道の街にいつにふさわしい活動に努めます。具体的には新津駅前観光案内所の更なる利活用やレンタルサイクル事業、SLばんえつ物語号や四季島などの誘客列車を通じたJR新潟支社、商店街との連携のほか、誘客事業として鉄ぶら事業も計画し、コロナ禍にあっても実施できる事業を各組織と協議しながら進めていきます。</p> <p>秋葉区内花き関連団体と進めてきた花き・花木振興事業を地場産業の育成の観点から各種事業を実施します。特に、遠方市場への輸送費助成や地元生産の花き・花木による各種園芸事業への参画は組織と連携し積極的に行っていきます。</p> <p>Akihaもち麦推進事業は引き続き実施し、小学校の総合学習や販売促進に向けたもち麦プロジェクト参加店舗との連携事業の充実を図ります。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5690
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	市民の安全で快適な暮らしを支える道路整備を進めます。 市民と協働で生活を支える道路や公園の維持管理に努め、安心で安全な生活環境を提供します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		市民からの苦情や要望等に対し、早期対応と適切な情報提供を行います。	・道路や公園の異常箇所の修繕 ・工事要望の対応方針説明 ・除雪状況の情報提供	通報等に対する24時間以内対応率(%) (途中経過説明を含む)	100	100	100	100		・通報は24時間以内に、安全の確認や対策を実施します。		
				工事要望の進捗状況説明(回)	11	11	11	11		・11地区の懇談会にて、工事要望書の進捗状況を説明します。		
2		新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を市民と協働で行います。	・市民と協働で遊歩道周辺や秋葉公園の除草や刈払を実施	参加人数(人)	564	514	414	350		・参加人数(内訳) 新津川クリーン作戦 270人、 秋葉公園クリーン作戦 80人など		
3		工事・委託の早期発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。	・道路や公園の維持及び整備工事の発注 ・設計や管理業務委託の発注	上半期発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	93	94	88	80				
4		職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため、各種研修などへ積極的に参加し情報共有を図ります。	・専門分野の土木技術研修や市主催の職員研修などへの参加 ・課内研修などで他の職員へフィードバックする	3回以上の研修への参加人数(人)	26	26	26	26		・建設課職員数26人		
				課内研修の実施(回)	7	6	6	6		・各係(グループ)単位にて2回実施		

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>道路や公園を安心して安全に利用できるよう維持管理に努めるとともに、市民から通報を受けた異常箇所は早急に修繕や安全対策を行います。また、工事要望や除雪等の問い合わせに対し、進捗状況などの情報を伝えるため、地区懇談会における説明や広報手段を活用した情報提供を行います。</p> <p>市民と協働で新津川や能代川沿いの遊歩道及び秋葉公園内の環境整備に取り組み、協働の楽しさを感じながら地域の魅力を高めます。</p> <p>工事などを早期に発注し、速やかなサービス提供と事業効果の発現を図り、利用者満足度の向上に努めます。</p> <p>各種研修へ参加することにより専門知識や広い視点での思考力を修得します。また課内研修などの機会での職員のプレゼンテーション能力の向上を図ります。</p>	

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5700
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	小須戸出張所
組織の目的	市民の目線に立った身近な行政窓口として、「迅速、正確、丁寧な対応」を基本に、市民サービスの提供を行います。また、市民とのコミュニケーションを大切にし、地域の話題や課題の情報を共有しながら、自治会活動や地区コミュニティ協議会活動を支援します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					R4結果	補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				
1		身近な行政窓口として、迅速かつ正確で丁寧なサービスを提供するため、職員の業務遂行能力の向上を目指します。	・職場内研修の継続実施 ・スキルアップ研修参加	職場内研修の継続実施(回)	職場研修10	職場研修10	職場研修9	職場研修10		・職場研修(ロールプレイングを主体とした研修) ・スキルアップ研修(区役所での実務研修、本庁での専門研修)		
				スキルアップ研修参加延べ人数(人)	スキルアップ12	スキルアップ10	スキルアップ15	スキルアップ10				
2		小須戸地域の減災防災意識について、防災訓練の支援を通しアップするよう支援します。	・小須戸コミ協、山の手コミ協合同の防災訓練に向けての全般的な活動を支援	・事前準備等検討会参加 ・訓練参加	-	防災訓練1回 準備会議2回	防災訓練山の手コミ協 10/30(土) 合同訓練準備会議2回	防災訓練の実施 準備等検討会参加(5回)	・小須戸地区小中学校防災避難訓練 11月12日(土) ・準備会議 小須戸コミ1回、山の手コミ協1回 全体会議3回			

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>職場研修の実施や区役所窓口などの研修参加を通じ職員のスキルアップに努め、市民満足度のさらなる向上を目指します。防災訓練の準備段階から会議に加わり、課題の掘り起こしと解決に向けた方向性を地域と考えるとともに、訓練を通して防災意識の向上につながるよう支援します。</p>	